

「大阪府豊かな海づくりプラン(Ⅲ期)(案)」に対する府民意見等と大阪府の考え方について

- 募集期間：令和7年2月7日(金曜日)午後2時から令和7年3月10日(月曜日)午後12時まで
○募集方法：インターネット(電子申請)、郵便、ファクシミリ
○提出人数・意見数：2名から計6件(うち意見の公表を望まないもの0件)のご意見をいただきました。
いただいたご意見等の概要と、ご意見等に対する大阪府の考え方は以下のとおりです。

No	意見	大阪府の考え方
1	9ページ11ページ「ブルーカーボン生態系」について、現在は藻場の二酸化炭素固定しか想定されていないようだが、沖縄のモズクでの例も出てきた。兵庫でも養殖ノリでクレジットを取得していこうと取り組んでいる。大阪でも、ワカメ、ノリ、コンブの養殖があり、カーボンニュートラルへの寄与についての記載があればと思います。	国立研究開発法人水産研究・教育機構が策定した「海草・海藻藻場のCO2貯留量算定ガイドブック」において養殖藻類のCO2貯留量の算定が示されていることから、本プランでもその趣旨を記載することとします。
2	漁師や漁業従事者の担い手不足に関して、能登半島地震を始めとする震災地域のほか、ウクライナやミャンマーなどの海外の紛争地域などからの漁師や漁業従事者の積極的な移住促進政策など、具体的且つ速効性のあるプランを追加してほしい。	いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。
3	海の安全について、万博やカジノでのテロなどに対する治安悪化対策をプランに明文化すべきです。本プランは、府民の海の安心安全に関するプランではないのでしょうか。	本プランは水産業振興を目的としており、それに関連した海の安全に資する取組を記載しております。
4	「漁港や水産物の安全対策」の記述があるが、2019年9月に当時の松井大阪市長、2021年4月に吉村府知事が原発事故の処理水放出の可能性を発言しており、そのようなことをすると風評被害を含めて、甚大な悪影響を及ぼし、漁港や水産物の安全が確保できず、水産資源に悪影響であることを本プランで触れて欲しい。	処理水の放出による水産資源への影響については、考え方を示す立場ではないと考えています。
5	万博で1杯2000円と超高額ラーメンが提供されるとの報道がありましたが、そのようなイベントで本当に大阪の水産物がアピールできるのでしょうか。むしろマイナスへの危惧すら感じます。	万博を通して大阪・関西に訪れる多くの方々に大阪の水産物をPRし、大阪の魅力を発信していきたいと考えています。
6	「大規模イベント」で注目される機会との記述はありますが、万博やカジノのHPを見ても、大阪湾との関連が全く分からず、何がどのように関連するのでしょうか。具体的になく、本当に「注目」されるとは思えません。	大阪・関西万博の会場は、四方を大阪湾に囲まれたロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」が印象強く感じられるものとなっています。 そのため、大阪・関西万博は大阪の水産物や漁業等の情報発信をする良い機会であると考えております。